

いじめの防止のために・・・

- 規律（ルール）の確立したチームづくり
- 信頼ベースで認め合えるチームづくり
- 充実した生活
（楽しい・わかる授業／自己肯定感の育つ教育活動・部活動）
- つながってつくるセーフティーネット
（保護者と・地域と・関係機関と）
- いじめ防止のスキルを学ぶ
（携帯電話・インターネット・コミュニケーション・
アンガーマネジメント・ストレスマネジメント）

「いじめは絶対許さない」強い信念

いじめの早期発見のために・・・

- 言いやすい雰囲気づくり
- しっかり観察
「感度のいい 高い アンテナ」
- しっかり共有
教職員間／家庭と／地域と／委員会と／関係機関と

「パツと動く・みんなで動く・気になることは話してみる」

いじめが起こったら・・・

- チームで役割決めて対応
「一人で抱え込まない。可能性の段階ですぐ報告。」
- 「いじめを許さない」毅然とした姿勢
- しっかりと事実確認
被害生徒の立場に立ちきって、話しやすい雰囲気です話を聴く。
関係生徒から 教師・生徒 1対1で事実確認。
（いつ・どこで・誰と・何を言ったか？何をしたか？）
内容のつきあわせで食い違い・矛盾を解明する。
全体像「事実」の確定
- 被害生徒・保護者への連絡・要望の確認
- 教職員で今後の対応を共通理解・役割分担・外部との連携
- しっかり見守る経過観察
個別指導と全体指導～学校で起きていることは学校の問題～

「ネガティブプラン・ポジティブアクション」

